学校だより

No.１４
令和５年３月２３日

東京女学館小学校

卒業式式辞より

校長　盛永　裕一

二十日に挙行された卒業式での「校長式辞」を、一部抜粋してお届けします。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。私にとって皆さんとの出会いは約一年前。全校児童を代表して、始業式・入学式に向けてお手伝いをしてくれた時のことです。初めて出会う私に対して、元気に、しかも大変上品に「おはようございます」とあいさつをしてくれました。お手伝いの仕方も見事で、その献身的な仕事ぶりに大変驚かされました。はじめて東京女学館小学校の子どもたちと出会う私にとって、期待や不安がありましたが、不安の部分はすぐに消え、期待ばかりが膨らむよい日になったことを覚えています。

今年の一月、一人の車いすテニスプレーヤーが引退しました。国枝慎吾選手です。

国枝選手は、脊髄腫瘍により、下半身麻痺のため、車いすでの生活を余儀なくされました。小学校四年生の時の出来事です。それまでは、野球をやっていて、体を動かすことが大好きな少年だったそうです。

母親の勧めで、車いすテニスを始めることになります。練習を重ね、男子世界歴代最多となる五十回の優勝を果たし、世界ランキング一位のまま引退。引退後は国民栄誉賞を授与されている「世界のレジェンド」です。

二千二十年、東京で開かれる予定だったパラリンピック。この年の国枝選手は、「自分史上最強」と胸を張るほど仕上がりは万全でした。しかし、新型コロナウイルスの影響で、大会は一年延期となります。三十代後半の国枝選手にとって、一度合わせた照準を定めなおして体調を維持することは簡単ではありませんでした。体のコンディションが整わず、思うようなショットが打てなくなってしまいます。「負けるたびに何かを変えることで、糸が絡まってしまい、何が正解なのかわからなくなってしまった。今度は絡まった糸をほどいて元に戻そうとしても、体が思い出せなくなっている。」経験したことのないスランプ。大会まであと一か月。国枝選手はあがき続けていました。

光がようやく差し込んだのは、大会のわずか一週間前。コーチと話し合い、この一年間で試行錯誤してきたフォーム改造の努力をすべて捨て、去年までのバックハンドの打ち方に戻すことを決断したそうです。

結果は見事金メダル。勝った瞬間、乾いたまめで硬くなった手のひらで目頭を押さえ、何度も涙していました。「チャンピオンとしての存在感を磨きながら、あえて挑戦者であること。その意識を大切にしてきました。」と語っています。

卒業生の皆さん、どうぞ高い志をもつ人になってください。志をもつと、今の自分を見つめることができ、挑戦者であることを意識することができます。そして、その志に向かって努力する人になってください。その謙虚な努力する姿は、あなたの周りにいる人たちを勇気づけることになるのです。コロナによる感染症対策の中、くじけずに前に進んできた皆さんです。きっとできる。そう信じています。

送別ドッジボール大会　　体育科担当教諭

３月６日（月）に送別ドッジボール大会を行いました。近年は新型コロナウイルスの影響で実施方法を変えていましたが、今回は３年ぶりに２月 28 日から予選を始め、本戦の試合を全学年が体育館で観戦する本来の方法で実施することができました。３・４・５年生にとっては初めてのドッジボール大会でした。どのクラスも作戦を立てて練習に励み、クラス一丸となって力を発揮することができました。トーナメントに勝ち上がった５年生と６年生が本戦に出場しました。１～4 年生は準決勝を１試合ずつ観戦し、精一杯応援しました。力強いボールが飛び交う高学年らしい戦いは、間近でみていた下級生を魅了しました。決勝戦は６A対６B。フェアプレーを心がけ、試合に出ている全員が全力を尽くしました。熱戦の結果、６年B組が優勝しました。閉会式では在校生を代表して３年生が６年生に送別の花束を贈りました。50 年以上続く送別ドッジボール大会。６年生の素晴らしいプレーをみた下級生がその伝統を引継ぎ、来年度も良い大会になることを今から楽しみにしています。

ひなまつり会

ちょっときんちょうしたけれど、うたいはじめたらおねえさまがにこにこしてくれたから、きんちょうがとまりました。げん気にたのしくうたえてよかったです。さいごに、おねえさまにキャンディーとお手がみをわたせたので、とてもうれしかったです。　　ＩA 児童

おねえさまにおれいのうたとキャンディーマグネットをプレゼントしました。うたのプレゼントはきんちょうしましたが上手にうたえました。おねえさまがよろこんでくれたのでうれしかったです。　　ＩB 児童

たんじょう日　２ばいにっこり　ひなまつり
ＩA 児童

おひなさま　えがおでうたを　きいている
ＩB 児童

来年度運動会のメダル決定　　体育科担当教諭

運動会の参加賞になるメダルデザインを全校から募集しました。各クラスで選ばれた候補作品の中から、全校児童で投票を行い、来年度は５年生児童のデザインに決まりました。本物とそっくりな優勝トロフィーと女学館のリボンがとても素敵に描かれています。どんなメダルキーホルダーが出来上がるのか運動会を楽しみにしていてください。

鼓隊引継ぎ式　３月８日(水)　　音楽科担当教諭

３月８日（水)、体育館で『鼓隊の引継ぎ式』が行われました。１年生から４年生が見守る中行われたのは３年ぶりです。力強い鼓隊演奏に合わせ、５・６年生のリコーダー演奏が体育館中に響き渡り、６年生バトン部さんがリングバトンを回して華を添えてくれました。演奏曲目は『小さな世界』『ソラシドマーチ』でした。

最後に、６年生総指揮者の児童から５年生総指揮者の児童に、指揮棒をしっかりと引き継ぎ、新４・５年生による新鼓笛隊が誕生しました。コロナ禍でも動画配信で引き継いできた鼓笛隊を、これからも絶やすことなく引き継いで力強い音色を奏でてまいりましょう！

すずかけ　お箸の使い方　（2/２７～3/１）
すずかけ担当教諭

南部久美子先生を講師にお迎えして、授業が行われました。１～3 年生は自分の使い慣れたお箸で、４年生は割りばしで、正しいお箸の使い方を丁寧にご指導いただきました。学年に応じた教材を使って、お箸の基本的な知識やマナー、和食のいただき方を楽しく学ぶことが出来ました。５年生はこれまで学習したことを思い出しながら、心をこめてお箸を製作しました。自分でデザインした世界に一つだけのお箸、出来上がりが楽しみです。

窓愛園訪問　　リボンの会副会長

今年度も窓愛園への寄贈品を２月 27 日と３月１日に集めさせていただきました。児童委員会からの呼びかけもあり、たくさんの寄贈品をお持ちいただきました。子どもたちの温かな心と共に、先生方、保護者の皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。寄贈品は、３月２日に、ご卒業生のご好意により用意されたトラックにて、土浦の窓愛園へとお届け致しました。また今年度は、同日に、リボンの会四役が下田教頭先生とご一緒に、窓愛園へとご訪問させていただきました。その名の通り、大きな窓から差し込む優しい光と、木のぬくもりにあふれた園内では、家庭的な雰囲気の中、健やかに暮らす子どもたちの明るい笑顔を見ることができました。子どもたちから「お父さん」と呼ばれる上方仁園長先生の、慈愛に満ちたお話をうかがい、窓愛園と東京女学館小学校とのつながりがより一層深まったことを、嬉しくそして誇らしく感じました。

生活科校外学習こどもの国　１年生　３月９日(木)

わたしは、こどものくににいくのが　はじめてでした。いちばんたのしかったのは、こどもどうぶつえんのやぎにえさをあげたことです。さいしょは、やぎにかまれるとおもったけれど、手をなめてくれました。こどもだけでこうどうするのがはじめてで、さいしょはすこしふあんでした。でもすぐにわくわくして、さいごはたのしくすごせました。また、いきたいです。

1A 児童

はじめてこどものくにへいきました。グループでたくさんけいかくを立てました。ひろいのでたくさんやりたいことがあり、みんなでなんどもはなしあいをしました。けいかくどおりにはいきませんでしたが、みんなでなかよくこうどうできました。いいおもい出になりました。　1A 児童

えん足でこどものくにへいきました。じかんがたりなくなってけいかくどおりにいかなかったけれど、みんなできょう力してたのしくあそべました。と中のだいートンネルの中で、はんのみんなで「あー」といったら、おばけがはしっている音がきこえました。こわくていそいでトンネルをぬけました。

1B 児童

うしにえさをあげました。うしが、わたしがあげたえさを口から出しながら、しっぽをビュンビュンふりまわしていたので、まるでおこっているようで、なんでだろうとおもいました。そうしたら、おともだちが「それ、ひつじのえさだよ」とおしえてくれました。わたしはこころの中で、うしさんごめんなさい。といいました。　1B 児童

生活科校外学習こどもの国　２年生　３月 10 日(金)

私ははんの時計がかりをしました。みんなで協力し、仲よくできました。私が一番気に入ったのは、のりもの広場の「ローリングサイクル」です。こげばこぐほどスピードが出て、風が「ひゅー」とふいて気もちいいからです。こどもゆうぼく場のソフトクリームが、あまくておいしかったです。ミニ SL では、みんなでいろいろお話をしました。ポニーぼく場では「ハナ」という女の子にのりました。よたよた歩いてかわいかったです。みんなで食べたおべん当。とてもおいしかったです。また行きたいです。　**2A 児童**

ひさしぶりに行ったこどもの国は楽しかったです。かわいいどうぶつたちをさわったり、えさをあげたりできてうれしかったです。おもしろ自てん車やローリングサイクルに友だちとのりました。すごくおもしろかったです。なかよし広場でめいろをしました。と中でまよってしまったけれど楽しかったです。はんのめあてもまもれてよかったです。こんどはもっと遠くまで行ってみたいです。　**2A 児童**

じかんにおくれてしまったり、トラブルはありましたが、みんなでなかよくすごし、がんばってのりこえることができました。今回のこどもの国は、きょねんよりドキドキしたので、帰りのバスで「よかったなあ。みんなできょう力すればなにがあってものりこえられるんだ。」と思いました。こんどは、かぞくでもいきたいです。　**2B 児童**

わたしがこどもの国で楽しかった場しょはのりもの広場です。どうしてかというと、ローリングサイクルとおもしろ自てん車があまりならばないでできたからです。そして、1 年ぶりにおもしろ自てん車にのれたのが一番うれしかったです。こんどはかぞくでもいってみたいです。こんかいのはんかつどうでは、けいかくどおりにはいきませんでしたが、みんながわらって楽しそうにしていたのでよかったなと思いました。

2B 児童

６年生　コイの解剖　　２月 28 日(火)　　理科担当教諭

今年も東京女学館小学校で何十年も続いている伝統ある授業「コイの解剖」を行いました。始まる前は不安でいっぱいの様子でしたが、それを乗り越えて真剣に取り組んでいました。児童の感想では、「心臓を取り出した後も、心臓が動いていて、その生命力の強さに感動しました。」「腸を取り出したとき、細く管のようになっていて、サイズが違うだけで人間も同じようなものだと考えると、不思議な気持ちになりました。」と、生き物の体の構造や生命の脈動を実感できたようです。実物からしか学ぶことのできない、貴重な体験になりました。

６年生　美しい日本語の話し方教室　３月９日（6B）１０日（6A）　　6A 担任

今年度はコロナ禍のため配信での授業となりました。劇団四季では母音語である日本語を耳に美しく響かせるための発声方法が取り入れられています。母音をしっかり意識することで美しく日本語を話すことができます。劇団四季の俳優さんの声掛けに応えていく中で、どんどん子ども達の発話が綺麗になっていくことを実感しました。最後に歌った「友達はいいもんだ」の声がとても美しく、感動しました。

6A 児童

私は「美しい日本語教室」の授業を受けて日本語の大切さを学びました。はっきりときれいな言葉を使って、相手に言いたいことを伝えることができれば、聞く人も聞き取りやすくなります。これからは美しく、正しい日本語が使えるように努力したいです。美しい日本語教室で学んだことを意識し、生かしながら過ごそうと思います。

令和４年度　第 89 回卒業式　　教頭　下田　栄子

3 月 20 日(月)、記念講堂で第 89 回卒業式を挙行しました。今年度は、卒業生･卒業生保護者の方々･教職員そして 4 年ぶりに全学年の在校生も参列することができました。

盛永校長先生から卒業証書をいただく卒業生は皆、大変美しい所作で、日々積み上げてきた体験が、6 年間という時間軸のなかで経験として身につけられていることを表していました。 また式の中で、はなむけのお言葉をいただき、卒業生は改めて中学生となった自分に思いを馳せることができたようです。卒業式後に保護者の方々が開催してくださった謝恩会で、小学校生活の思い出とこれから志を持って新たな挑戦をしていこうとしている意気込みを、一人ひとりが聞かせてくれました。

式典や謝恩会での子どもたちの柔らかな歌声に包まれ、より感慨ぶかい時を過ごすことができた 1 日。卒業生が小学校での学びを芯としてこれからも明るく強く健やかに中学校生活を送っていかれますようにという願いと、6 年間ご協力くださった保護者の皆様への感謝の気持ちを抱きつつ、教職員一同 6 年生の旅立ちを祝しました。

６年生社会科見学　　３月 14 日(火)　　6B 担任

最後の校外学習として 6 年生は国会議事堂とアーティゾン美術館を見学しました。多くの気付きと学びにあふれた一日となりました。

6B 児童

私は写真やテレビでしか国会議事堂を見たことがありませんでした。けれど実際に中に入り、上から議員議場を見てみると、テレビや写真よりずっと大きく感じました。テレビで中継などが流れている時は人事だと思わず、一人の国民として議員さんの意見に対し深く考え、生活の中に生かしていきたいです。美術館では、私は今まで本物の絵を見る機会があまりなかったので、授業で学んだ絵や、とてもインパクトのある数々の絵にとても興奮しました。少し近付いてみると、目のうつむき方や一筆一筆のきめ細やかな線までよく見え、まるで絵が今にも動き出しそうでした。また、その絵を描いた作者の背景を知ることで、より作品に深みが増し、その絵に込められた思いを絵が私達に語りかけてくるようでした。絵は何百年も前の人と私たちの心をつないでくれているのだと思いました。

生活指導部より　　生活指導部長

通学時に所持しているものについて、以下のことを再度ご確認ください。

（１）IC カード

カードマネー機能がついていますが、登下校中は通学以外の目的（買い物等）で使用させないでください。通学に必要な金額を確認して、保護者の方があらかじめチャージしてください。学バスで使用する場合、定期入れに IC カードが入っていますと、バスの定期券を見せる時に機械に反応して料金をとられる場合があります。利用方法と注意事項については、ご家庭でもご指導ください。

（２）位置情報端末

位置情報端末は、登下校の安全確認のために所持するものです。メールや通話の機能は使用しません。ご家庭でも使い方の約束を守ってください。

※その他、春休み中に「児童手帳」「保護者のしおり」を読み直し、新年度に向けて学校のきまりをしっかりと確かめてください。（新年度一部変更あり）